

ジョナサン・ノット&東京交響楽団『Season 6』
2019/20年シーズン ラインナップ
記者会見 資料

2018年11月6日(火) 11:00~12:00
ミューザ川崎 市民交流室

<進行次第>

1. 川崎市長 福田紀彦 メッセージ紹介
2. ご挨拶 大野順二 公益財団法人東京交響楽団 専務理事 楽団長
3. 2019/20年シーズンについて 音楽監督ジョナサン・ノット 通訳:久野理恵子氏
4. 音楽監督ジョナサン・ノットのプログラミングについて
ミューザ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演について 辻 敏 事務室長
5. 音楽・動画配信サービス『TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION』について
6. 質疑応答
7. 写真撮影
8. 会見終了

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

川崎市長 福田 紀彦 メッセージ



このたび、東京交響楽団の2019年シーズンラインナップが発表され、大変嬉しく思います。

東京交響楽団は川崎市のフランチャイズオーケストラとして、ミュージア川崎シンフォニーホールを拠点に、多彩なコンサートを積極的に展開され、幅広く川崎市の音楽文化の発展及び向上に、貢献されてきました。川崎市が推進する「音楽のまち・かわさき」はもちろんのこと「かわさきパラムーブメント」においても大切な存在であり、小学生を対象とした音楽鑑賞教室や、病院・福祉施設での巡回公演などの活動を展開されており、広く市民に親しまれるオーケストラとしての貢献はとて大きなものです。

ジョナサン・ノット音楽監督が、東京交響楽団の皆様とともに歩んだ「音楽の旅」も今シーズンで6年目を迎えられ、次はどのような感動を分かち合うことができるのかと今からとても楽しみです。

来シーズンは、ミュージア川崎シンフォニーホールの改修が終わり、記念すべきその第一回目に演奏される大曲や、世界が注目する気鋭の指揮者の登場など、魅力的なプログラムで、皆様に大きな感動をもたらしてくれるものと期待しています。

シーズンの御成功を祈念申し上げますとともに、東京交響楽団のますますの御発展とジョナサン・ノット音楽監督の御活躍を併せて祈念申し上げます。

川崎市長 福田 紀彦

ジョナサン・ノット Jonathan Nott

東京交響楽団 第3代音楽監督 (2014年～)

ジョナサン・ノットは 2011 年 10 月定期／川崎定期演奏会におけるラヴェル「ダフニスとクロエ(全曲)」などを指揮して東京交響楽団にデビュー。この共演が決定的となり、翌 2012 年 10 月には次期音楽監督の就任を発表。2014 年度シーズンより東京交響楽団第 3 代音楽監督を務める。2015 年度は、出演した全ての定期演奏会が批評家によるコンサート・ベストテン(「音楽の友」誌上)で多くの票を集めるなど、今最も目が離せない指揮者である。

1962 年イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で音楽を専攻し、マンチェスターのロイヤル・ノーザン・カレッジでは声楽とフルートを学び、その後ロンドンで指揮を学んだ。ドイツのフランクフルト歌劇場と ヴィースバーデン・ヘッセン州立劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、オペラ作品に数多く取り組む。1997 年～2002 年ルツェルン交響楽団首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、2000 年～ 2003 年アンサンブル・アンテルコンタンポランの音楽監督(2004 年～2006 年は客演指揮者)、2000 年～2016 年ドイツ・バンベルク交響楽団の首席指揮者を務めた。2017 年 1 月にはスイス・ロマンダ管弦楽団の音楽監督に就任。



2010 年、バンベルク響との CD「マーラー交響曲第 9 番」を世界で権威あるフランスの Midem 音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞へ導き、オーケストラの知名度を一躍広めた。古典から現代曲まで幅広いレパートリーと抜群のプログラミングセンスを持つノットは、その多岐にわたる活躍が評価され、2009 年バイエルン文化賞が贈られた。2016 年 7 月にバンベルク大聖堂にて開催された同響とのラストコンサートでは、大司教より功労勲章が授与された。

ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バーミンガム市響、チューリヒ・トーンハレ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ドレスデン・シュターツカペレ、バイエルン放送響、サンタ・チェチーリア管など世界一流のオーケストラと客演を重ねている。2016 年 6 月には D.ガッティの代役でウィーン・フィルへ客演し、ヨナス・カウフマンと共演した。この演奏はソニークラシカルからリリース予定。

レコーディング活動においてもノットの多彩な才能が生かされており、ベルリン・フィルを指揮したリゲティの作品全集(Teldec)や、アンサンブル・アンテルコンタンポランとのエマヌエル・ヌネス作品集、ラッヘンマン作品集、ジョン・アダムズの DVD、クセナキス、ベリオほかの作品集といった現代作品や、バンベルク響とのマーラー、ブルックナー、シューベルト、ストラヴィンスキーの作品(Tudor)、東京交響楽団とはオクタヴィアレコードから 5 作品がリリースされている。

『 ジョナサン・ノット&東京交響楽団 Season 6 』

2019/20年シーズン主催公演等ラインナップ

音楽監督ジョナサン・ノットと東京交響楽団の6年目となる2019/20年シーズンのラインナップが決定しました。音楽監督ノットは定期演奏会4公演、川崎定期演奏会2公演、東京オペラシティシリーズ2公演、名曲全集1公演、特別演奏会(第九公演)2公演の計7演目11公演を指揮します。ブリテン、ショスタコーヴィチ、J.シュトラウスII、タリス、R.シュトラウス、アイヴズ、シューベルト、ブラームス、ベルク、マーラー、ヤン・ロビン、ベートーヴェン、リゲティ、モーツァルト(登場月順)の作品が並びます。

各シリーズ公演について

定期演奏会 ミュゼ川崎/サントリーホール (10公演)	1947年、東京交響楽団の前身「東宝交響楽団」時代に第1回目の公演が行われました。いつの時代も東京交響楽団の「今・そして未来」を感じさせるシリーズ。
川崎定期演奏会 ミュゼ川崎シンフォニーホール (5公演)	今やその極上の音響が世界に知れ渡る本拠地ホール、ミュゼ川崎シンフォニーホールでのシリーズ。定期演奏会から厳選した5つの演奏会をおおくりします。
名曲全集 ミュゼ川崎シンフォニーホール (10公演)	2004年スタートの、今や週末の午後の定番シリーズ。マエストロ(名匠)によるマスターピース(名曲)の数々を堪能できると高い人気を誇るシリーズ。
東京オペラシティシリーズ 東京オペラシティコンサートホール (5公演)	1998年スタート以来、東響指揮者陣を始め海外で注目の指揮者、アーティストがいち早く登場するシリーズ。週末午後2時開演と、このシリーズだけのシルバー割引も魅力。

——— 音楽監督ジョナサン・ノット指揮公演 ———

ブリテン:ヴァイオリン協奏曲 ショスタコーヴィチ:交響曲第5番
<5月定期演奏会>

ブリテンのヴァイオリン協奏曲は第二次世界大戦が宣戦された年に作曲され、ブリテンの反戦の意思が反映された傑作。ショスタコーヴィチも同じ時代に、友人・親類が逮捕・処刑され、不安なソ連の情勢のもと作曲された名曲。政治や戦争を再考させられる意義深いプログラム。

ヤン・ロビン:「クオーク」チェロと大オーケストラのための ベートーヴェン:交響曲第7番 他
<5月オペラシティシリーズ>

ノット&東響が第5番、第6番、第3番、第4番と毎年積み上げてきたベートーヴェンの交響曲。今回は熱演が期待される第7番が登場!さらに、これぞ「新世代のチェロの鬼才」と呼ぶに相応しいアンサンブル・アンテルコンタンポランのクチュリエが初登場。複雑怪奇な現代曲に命を吹き込みます。

人生とは何か？ 死とは何か？— J. シュトラウスⅡ《芸術家の生涯》 リゲティ:レクイエム
タリス:スペム・イン・アリウム R. シュトラウス《死と変容》
＜7月定期&川崎定期＞

人生とは何か？ 死とは何か？ ワルツ、レクイエム、合唱曲、交響詩と様々な音楽と演奏形態で迫る一大プログラム。2015年11月定期でのリゲティ《ポエム・サンフォニック〜100台のメトロノームのための》〜ショスタコーヴィチ:交響曲第15番、2016年4月オペラシティシリーズでのリゲティ&パーセル&《ツァラトゥストラはかく語りき》の公演を思い起こさせます。一つの大きなストーリーを作り出し、聴衆に新たな音楽体験へと導くノット監督渾身のプログラム！

アイヴズ《答えのない質問》 シューベルト《未完成》 ブラームス:ピアノ協奏曲第1番
＜10月定期&名曲全集＞

2014年、ノットが審査員長を務めたゲザ・アンダ国際ピアノコンクール覇者ヴァーヴェアラが、東響定期で鮮烈な日本デビューを果たします。アイヴズの「答えのない質問」とシューベルトの交響曲「未完成」のカップリング(しかも続けて演奏)は、ノット監督ならではの。

ベルク《管弦楽のための3つの小品》 マーラー:交響曲第7番「夜の歌」
＜11月定期&川崎定期＞

ノット&東響が毎シーズン取り組んできたマーラーの交響曲。このシーズンは、特に高い演奏技術が必要とされる7番をとりあげます。難曲の一つといわれるベルク作品は、官能的でありながら人間味ある楽曲で、ロマンティックな音楽。12音技法による激動の世紀末を生き、マーラーとマーラーをこよなく敬愛したというベルクの共通点と相違点を聴く絶妙なプログラミング。

リゲティ《管弦楽のためのメロディーエン》 R.シュトラウス:オーボエ協奏曲
モーツァルト:交響曲第41番「ジュピター」
＜11月オペラシティシリーズ＞

ノットが音楽監督契約延長の契機となったモーツァルト。今回は最後の交響曲第41番「ジュピター」。ノットの信頼も厚い首席オーボエ奏者・荒絵理子を迎えてのR.シュトラウス、ノット&東響の代名詞ともなりつつあるリゲティと、色彩感溢れるプログラム！

-----「第九」公演 <12月28日、29日>-----

音楽監督ジョナサン・ノットが、いよいよ2019年から年末第九公演に登場。しかも「第九」のみのプログラムはまさにストレート勝負！ノット厳選のソリスト陣と東響コーラスとともに年末の東京第九シーンを彩ります。

▼公演

2019年12月28日(土)18:30 サントリーホール

2019年12月29日(日)14:00 サントリーホール

▼出演

指揮=ジョナサン・ノット

ソプラノ=ルイズ・オルダー メゾソプラノ=ステファニー・イラーニ

テノール=サイモン・オニール バスバリトン=シェンヤン 合唱=東響コーラス

▼チケット発売

一般発売 2019年7月9日(火)

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

その他の定期&川崎定期演奏会

<4月> 桂冠指揮者 秋山和慶が取り上げるのは、フランス植民地時代と、地中海の港めぐり。異国情緒豊かなプログラムです。2017年、大学1年在学中に、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝、併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞し、一躍世界の注目を浴びた藤田が難曲「赤道コンチェルト」に挑みます。

<6月> 桂冠指揮者のユベール・スダーンが、バイロンの劇詩「マンフレッド」をテーマにプログラムをまとめました。シューマン・ファンの皆様にとっては、スダーンのシューマンが久々に聴けるのは楽しみではないでしょうか。また、スダーンがチャイコフスキーの管弦楽を指揮するのはと大変珍しく、ご期待ください。

<9月> 1986年生まれのブランギエ。弱冠18歳でブザンソンコンクール優勝後、20歳でロス・フィルの副指揮者、そして2014年からはチューリヒ・トーンハレ管弦楽団の音楽監督を務める、フレッシュな新時代の天才指揮者。ソリストには、今年、オラモ指揮 BBC 交響楽団でも話題となったヴァイオリニスト、ポゴスキーナが共演いたします。

<12月> 東京交響楽団と5度目の共演となるマーク・ウィグルスワース。今年3月の来日では、イングリッシュ・ナショナル・オペラとの契約の関係で1回をキャンセルしなければならなかったそのリベンジで、その際共演予定だった相性ぴったりのバートレットを再び指名しました。

<2020年1月> 今年5月のウド・ツィンマーマン:オペラ「白いバラ」(日本初演)が記憶に新しい正指揮者の飯森と、ドイツの宮廷歌手の称号を持つ角田によるリームの声楽付き作品や、まだ日本では演奏されていないラッヘンマンやアイネムの管弦楽曲とシュトラウスの大編成曲に興味をそそられます。

<2020年2月・川崎定期> チリ出身のライヒェル・シルヴァによるスペイン音楽特集。スペインギター界を背負うアギーレによるアランフェス、また吹奏楽界で人気のある魔の天野正道による長いタイトルの作品にはスーパーランペッターエリック・ミヤシロが登場するなど、話題満載のコンサート。

<2020年3月> 各方面で才能を発揮している鈴木まさとによるバッハのメンデルスゾーン版による「マタイ受難曲」。氏の信頼のおけるソリストとともに、東響&東響コーラスがバッハに挑みます。なお演奏には、児童合唱として、横須賀芸術劇場少年少女合唱団が加わります。

その他の東京オペラシティシリーズ

<7月> 世界中で引っ張りだこの指揮者ヴィオットティが、今年度に続いて登場です。雑誌「エスクワイヤ」2018年秋号もモデルとして登場し、注目を集めました。シェーンベルク編曲のブラームス、ドヴォルザークの交響曲第7番というブラームスをコンセプトに置いた絶妙なプログラム(ドヴォルザーク交響曲第7番にはブラームスの交響曲第3番のフレーズが引用されている)で、東京オペラシティ、新潟りゅーとぴあ、ミューザ川崎の3会場へ登場します。

<9月> イギリスにて作曲、指揮、ピアニストで活躍するライアン・ウィグルスワース。才能を十分に生かしたプログラムにて当楽団とは初共演です。なお彼のプロフィールを見ると、先述のマーク・ウィグルスワース氏とはとくに親戚関係にはないようです。

<2020年3月> 飯森による「ラヴェル管弦楽集」。チェロ奏者新倉瞳委嘱による、ファジル・サイの新作にもご注目ください。

名曲全集

2019年6月末までミュゼ川崎シンフォニーホールは改修工事のため、2019年5月、6月の公演は、カルッツかわさきにて開催いたします。

<5月> 飯森によるロシア音楽。前半はオーケストラと東響コーラスの共演。なかでも注目は、ムソルグスキーの「はげ山の一夜」の1880年版です。これには、バリトンのユシュマノフ、東響コーラス、児童合唱が入ります。

<9月> ライアン・ウィグルスワースと、人気ピアニストポール・ルイスによる演奏会です。「変奏曲」がテーマとなっていますが、2人によるピアノ演奏も楽しみです。

<11月> 人気の兄弟ピアニスト、ユッセン兄弟によるピアノと、沼尻とのシヨスタコーヴィチ4番のシンフォニー。

<12月> 「年末は秋山」のファンのために第九を演奏します。

<2020年1月> 昨年のブザンソン指揮者コンクール優勝のグラスバークは、グランドボーン音楽祭、モネ劇場での活動で注目を浴びている指揮者。上原彩子とのベートーヴェンも楽しみです。

<2020年2月> 新潟にて東京交響楽団でデビューしているチェリスト横坂のデビュー10周年を飾り、現代音楽を含むチェロ作品3曲を。指揮者には、今年4月ヴァイオリンのヴァイトハースとのコンチェルト3曲でみごとなサポートをした齋藤友香理を再び招聘、若い2名の演奏に注目です。

<2020年3月> 2017年のミュゼ・ソリストオーディションにて合格した東京藝術大学の黒沼香恋をピアノに迎え、オルガンはミュゼ川崎シンフォニーホール専属ピアニストの大木麻理とともに名誉客演指揮者の大友直人がフランス音楽で締めくくります。

こども定期演奏会

子供だけでなく、大人も楽しみ学べる年4回の「こども定期演奏会」。今年も、子供に媚びない内容、りっぱな指揮者、すてきなソリストを招いておおくりします。

新潟定期演奏会

1999年から、りゅうとぴあ新潟市民芸術文化会館コンサートホールの主催で行われている「新潟定期演奏会」は2019年で20年を迎えます。来年度も地元の音楽ファンを唸らせるべく、年6回の公演を、充実した内容と演奏とでおおくりいたします。

2019/20年シーズン チケット・その他について

定期、川崎定期、東京オペラシティシリーズの各定期会員券は **10月30日から発売中**です。

選べるプラン：12月4日(火)一般発売

東京交響楽団主催演奏会3シリーズ(定期演奏会・川崎定期演奏会・東京オペラシティシリーズ)の全20公演からお好みの4公演以上を自由に選んで組み合わせただけのプランです。お好きな公演をお好きなだけ割安で楽しんでいただけます。

対象公演：定期演奏会(10公演)、川崎定期演奏会(5公演)、
東京オペラシティシリーズ(5公演)の全20公演

対象座席：S席～B席(組み合わせは自由)

価格：お好みの4公演以上を選んで同時に申込の場合、20%引きにて購入可。

1回券

定期演奏会／川崎定期演奏会／東京オペラシティシリーズ1回券：12月4日(火)一般発売
名曲全集：前期1回券 2019年2月14日(木)／後期1回券 2019年6月20日(木)一般発売
こども定期演奏会1回券 3,500円：2019年1月29日(火)一般発売

その他各種割引制度：対象者ご本人のお申込みが必要です。

■シルバーエイジ割引 (対象：東京オペラシティシリーズ)

対象：購入時に65歳以上のお客様

東京オペラシティシリーズの1回券(S・A・B席のみ、C席除く)を1,000円引きで販売いたします。
TOKYO SYMPHONY チケットセンターへお電話でお申込み。

■ハート割引

対象：障害者手帳をお持ちの方とお付添い1名様。*車いすエリアは各公演の最安料金で求めいただけます。

対象座席：1回券の各席種

■当日学生券 1000円！

対象：24歳以下の学生

東京交響楽団単独主催(特別演奏会は除く)で公演当日に残席がある場合、当日券販売窓口にて、**ご本人様に限り1,000円にて**楽団指定の座席を限定枚数販売いたします。当日学生券の発売情報は、公演1週間前に公式ホームページで発表いたします。学生証と年齢の確認できるものをご提示いただいた上、ご購入いただけます。

■《マエストロ・シート》

対象：小学生、中学生、高校生

*小学生・中学生は必ず保護者の方とお二人一組で申込みで

<定期演奏会><川崎定期演奏会><東京オペラシティシリーズ>へ各公演の指揮者が小・中学生、高校生のみなさん(5組10名様)をご招待します。終演後にはスタッフがバックステージの指揮者の楽屋にご案内します。

申込方法：各公演の1ヶ月前までに、ご来場のお二人のご住所、お名前、年齢、電話番号とご希望の演奏会日を明記の上、Eメール/maestroseat@tokyosymphony.com でお申し込み下さい。

無料ご招待

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

ミュージア川崎シンフォニーホール開館 15 周年記念公演

— シェーンベルク:《グレの歌》—

主催:ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

東京交響楽団の拠点ホールであるミュージア川崎シンフォニーホールは、2019 年に開館 15 周年を迎えます。2004 年のホール開館以来、川崎市・ミュージア川崎シンフォニーホール・東京交響楽団が三位一体となって「音楽のまち・かわさき」を推進し、マーラー《千人の交響曲》、モーツァルトの歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》《ドン・ジョヴァンニ》《フィガロの結婚》(演奏会形式)等、三者の協働によるプロジェクトを重ねてまいりました。このたびのホール開館 15 周年記念として贈るのは、演奏時間約 1 時間 50 分、オーケストラ約 150 人、合唱約 250 人の総勢約 400 名の巨大編成でおおくりする一大スペクタクル作品《グレの歌》です。

▼公演日

2019 年 10 月 5 日(土) 15 時開演 ミュージア川崎シンフォニーホール

2019 年 10 月 6 日(日) 15 時開演 ミュージア川崎シンフォニーホール

▼出演

指揮=ジョナサン・ノット

管弦楽=東京交響楽団

ヴァルデマール=トルステン・ケール Torsten Kerl

トーヴェ=ドロテア・レシュマン Dorothea Röschmann

山鳩=藤村実穂子 Mihoko Fujimura

農夫=アルベルト・ドーマン Albert Dohmen

道化師クラウス=ノルベルト・エルンスト Norbert Ernst

語り手=調整中

合唱=東響コーラス

▼1回券

2019 年 5 月頃予定

▼東京交響楽団 《グレの歌》 演奏履歴(全 7 回)

-2006 年 6 月 25 日 サントリーホール 第 537 回定期演奏会<創立 60 周年記念公演>

(指揮=大友直人、共演=京都市交響楽団)

-2006 年 6 月 24 日 京都コンサートホール 第 489 回京響定期演奏会

(指揮=大友直人、共演=京都市交響楽団)

-1999 年 8 月 30 日 サントリーホール サマーフェスティバル 1999(指揮=秋山和慶) *主催/サントリーホール

-1990 年 6 月 28 日 Bunkamura オーチャードホール 第 362 回定期演奏会

(指揮=秋山和慶、共演=大阪フィルハーモニー交響楽団)

-1990 年 6 月 26 日 Bunkamura オーチャードホール 特別演奏会

(指揮=秋山和慶、共演=大阪フィルハーモニー交響楽団)

-1986 年 6 月 26 日 東京文化会館 第 322 回定期演奏会(指揮=秋山和慶)

-1986 年 6 月 25 日 東京文化会館 東京アカデミー合唱団特別定期演奏会(指揮=秋山和慶)

2018年11月6日 音楽・動画配信サービス

『TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION』スタート！

公益財団法人東京交響楽団は、株式会社フェイスが運営する Future Artist Network Service=Fans' (ファンズ) というプラットフォームを使い、スマートフォン、タブレット、パソコンで東京交響楽団の演奏をお楽しみいただけるサブスクリプションサービス『TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION』をスタート致します。

『TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION』では、**1か月 500円(税別)**で音楽と動画を見放題、聴き放題でお楽しみいただけます。すでに一般販売されているCDに加え、楽団の記録音源や演奏会動画の配信、楽団公式グッズの販売を行うことで、より一層のファン拡大を狙います。

*パソコンではストリーミング配信で音楽・動画を視聴していただけます。

*スマートフォン・タブレットでは、動画はストリーミング配信で、音源は専用の Fans' Player アプリをダウンロードして視聴し、オフライン環境でも視聴可(iOS/Android 対応)です。

▼視聴方法

1: 『TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION』

公式サイトへアクセス。

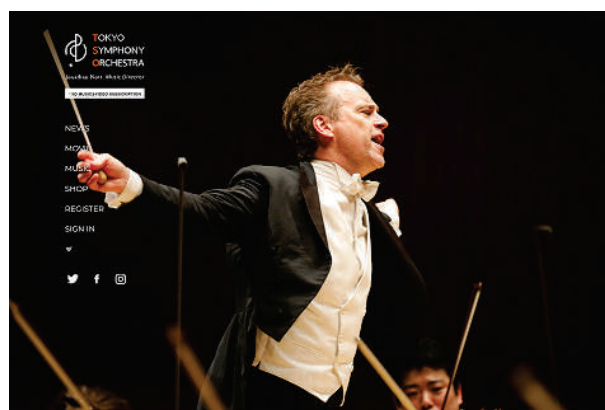
<https://tso.futureartist.net/>



* 会見時はセキュリティがかけられているため
サイトへはアクセスできません。

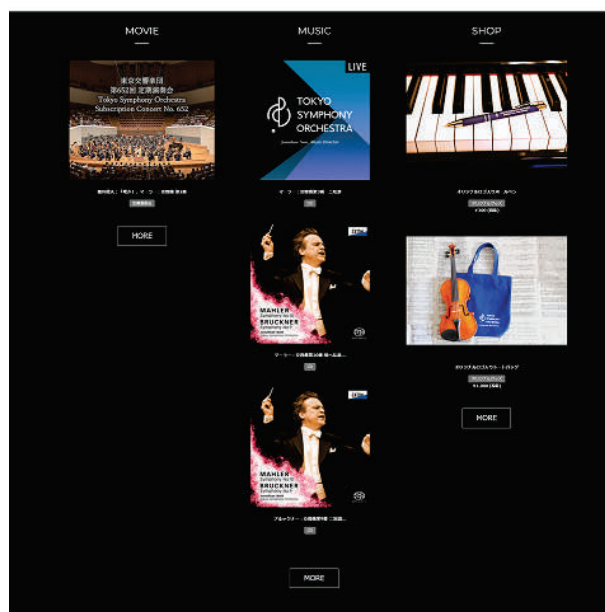
2: メニュー内「REGISTER(ご利用・登録)」
ページから、アカウント登録し、月額 500円(税
別)プランに入会。

3: 登録手続き後、音楽と動画をお楽しみいた
だけます。



NEWS

MORE



アカウントをお持ちの方

会員登録する

▼サービス開始時のコンテンツ

＜動画＞ *ハイビジョン撮影

① 細川俊夫:《嘆き》、マーラー:交響曲第2番《復活》

第652回定期演奏会 2017年7月15日(土) ミューザ川崎シンフォニーホールのライブ収録

指揮=ジョナサン・ノット 管弦楽=東京交響楽団

メゾソプラノ=藤村実穂子 ソプラノ=天羽明恵 合唱=東響コーラス 合唱指揮=富平恭平

＜音源＞

① マーラー:交響曲第3番 *当団アーカイヴ録音からの特別配信

第633回定期演奏会 2015年9月12日 サントリーホールのライブ収録

指揮=ジョナサン・ノット 管弦楽=東京交響楽団 メゾソプラノ=藤村実穂子

児童合唱=東京少年少女合唱隊 児童合唱指揮=長谷川久恵

女声合唱=東響コーラス 女声合唱指揮=富平恭平

以下②～⑥はオクタヴィアレコードから発売中のCD(全てジョナサン・ノット指揮、東京交響楽団)

② ブルックナー:交響曲第8番(ノーヴァク版第2稿)

③ ショスタコーヴィチ:交響曲第10番

④ ブルックナー:交響曲第5番(ノーヴァク版)

⑤ ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」、シェーンベルク:浄められた夜

⑥ マーラー:交響曲第10番からアダージョ、ブルックナー:交響曲第9番

▼公式グッズ

オリジナルロゴ入りトートバッグ 1000円(税込)



オリジナルロゴ入りボールペン 300円(税込)



▼今後の動画コンテンツ予定(都合により変更となる場合もございます)

- ブラームス:ピアノ協奏曲第2番(第665回定期演奏会/2018年11月3日サントリーホール)
- ラフマニノフ:交響曲第2番(第665回定期演奏会/2018年11月3日サントリーホール)
- ヴァレーズ:密度21.5、アメリカ(名曲全集第143回/2018年12月16日ミューザ川崎)
- R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」(名曲全集第143回/2018年12月16日ミューザ川崎)
——全てジョナサン・ノット指揮

*2019年度公演の動画収録については調整中

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

東京交響楽団

1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、ミュージックペンクラブ音楽賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞している。また、2013年には川崎市文化賞を受賞した。舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュゼザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においても58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げてきた。また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「0歳からのオーケストラ」「こども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的に開催。その募金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地に役立てられている。

録音や放送においても活発で、TOKYO SYMPHONY レーベル、N&F レーベル、キングレコード、EXTON レーベル、日本コロムビア等から多数リリースし、テレビ朝日「題名のない音楽会」へレギュラー出演している。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁す。2016年に創立70周年を記念し、ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行う。また2018年8月には日中平和友好条約締結40周年を記念し上海・杭州にて公演を行い、日中の文化交流の役割を果たした。

公式サイト <http://tokyosymphony.jp>

プレスページのご案内 tokyosymphony.jp/press

2019年度シーズン出演のアーティスト写真をはじめ、東京交響楽団の指揮者陣、オーケストラ写真、プレスリリースを自由にダウンロードしていただける、マスコミの皆様専用ページです。

【取材等お問合せ】

公益財団法人東京交響楽団 広報本部／高瀬 takase@tokyosymphony.com

TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488